

京都労山

2025年2月号

No. 380

発行日

2025年1月20日

発行所: 京都府勤労者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: ☎.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。

2月号目次

| | |
|---------------------------|-----|
| * 六つの合い言葉・目次 | |
| * ステップアップ 坪山理事長 | 01 |
| * 事務局長会議報告 | 02 |
| * 自然保護セミナーの報告 | 03 |
| * 自然保護セミナー報告「丹波国定公園を知る」 | 07 |
| * 積雪期搬出訓練の案内 | 09 |
| * クライミング委員会山行報告 | 10 |
| * 大文字山登山道整備の案内 | 11 |
| * 能登半島地震被災者支援活動報告 | 12 |
| * 60周年記念事業実行委員会報告 | 15 |
| * 連載企画・二百名山登頂シリーズ第47「姫神山」 | 16 |
| * 2月号の案内 | 17 |
| * 連盟月間予定表「カレンダー」 | 裏表紙 |

京都労山第 60 回定期総会を迎えて

新しい年を迎え、山行に会活動に走り出されていることと思います。年始には単独行者の遭難事故が相次ぎました。会の仲間から生きた情報を取り入れて、安全登山を実践できる私たち組織登山者では遭難の確立は低いと思いますが、私たちも幾多の仲間を山で失っています。それぞれの教訓を振り返り、これからの安全登山を実践したいと思います。年頭に当たり、決意を新たにします。

さて、第 60 回定期総会が近づいてきました。救助隊再構築のためにスタートした遭難対策部は、歩みは遅々としていますが着実に前進しています。しかし、救助隊員の登録は 19 名（1/16 現在）にとどまり、広がりには欠けていることは明白です。応急手当や救助技術を身につけ、仲間がいざという時には出動する。日頃は、会得した応急手当や救助技術を仲間に伝え、京都労山全体の救助スキルを高める役割を發揮する隊員の登録を増やすことが急務です。それを支える遭難対策部は活動の一年目を終え、まとめと次期方針を提示します。各会・会員のみなさんとの思いがかけ離れていないか。是非ご意見を頂戴したいと思います。

昨年のステップアップでも触れましたが、8 年ぶりに会員数が増勢に転じました。今期も引き続き前進を続けています。これは、仲間作りのために登山教室開催や、SNS を活用したお誘い山行の実施など、各会の努力が現れたものと思います。もう一つ、各会で実施されている定例のトレーニング山行の効果も出てきているのでは無いかと思います。会の仲間が励まし合いながら、体力向上を図ることが、それぞれの登山寿命を引き延ばすことに繋がったのではないかと推測します。結果として会を離れる仲間を引き留め、増勢したのではないかと思います。

60 周年事業も総会で議論いただきたいところです。実行員会を立ち上げ、方針作りをしていますが、記念山行や記念集会。記念ルート整備。記念誌発行など、いろんな取り組みが考えられます。単にお祝い行事として終わらせるのではなく、労山らしく会員の要求に沿った活動の到達点を示すものとして残したいと思います。

他にも、青年委員会や女性委員会の担い手やあり方、各委員会での担い手の拡充。山行中での事故の多発など、課題山積の総会ですが、会での論議を経て総会の場で活発な論議を行い、新しい体制のスタートにつなげたいと考えます。各会での論議をお願いします。

京都府勤労者山岳連盟
理事長 坪山 芳樹

事務局長会議報告 (各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催)

1 月度会議：WEB 会議 やましな,乙訓,右京,伏見,明峯,山城,左京,洛中
8 労山参加、連盟から 2 人参加。西山報告有り。

各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

- ・[右京]<例会>12/8 つつじ尾根→水尾鳥鍋 12 人,15 終い山行(地蔵山→愛宕山)21 人<予定> 1/5 新春お点前ハイク,12 新春初登り愛宕山<その他> 1 月集い山本先生の本より「登山寿命を伸ばすための考え方を知る」を勉強予定。
- ・[やましな]<例会>12/1 アイゼントレと読図山行(白坂・岳山ピストン)9 人,22 保津峡～水尾(柚子風呂と鶏鍋) 8 人<予定> 1/12 新春登山比叡山,19 ストーンアート茶話会<その他> 40 周年実行委員会。2/11 第 41 期定期総会(地域体育館)
- ・[西山]<例会>12/1 中級実技③テン泊堂山 16 人,15 中級座学③22 人<予定>1/19 中級実技アクシデント対応<その他> 2/9 第 1 回山行計画会議 8 月迄の山行予定
- ・[左京]<例会>12/15 彦根佐和山 5 人,22 比叡山(雲母坂～坂本)6 人<予定>1/12 新春恒例大文字山<その他> 1/29 ミーティング「2025 今年登りたい山 他」
- ・[乙訓]<例会>12/7～8 納山祭(龍の小屋)18 人,14 播磨アルプス 5 人<予定> 1/4 初詣愛宕山,10 寒さに負けず初登り天王山<その他>納山祭宿泊 5 名少なく課題有
- ・[伏見]<例会>12/15 アイゼントレ白坂 4 人,大文字トレ 4 回(12/4,11,21,25) 28 人<予定> 1/12 小野アルプス<その他>1/4 愛宕山初詣山行 26 人参加(過去最高)
- ・[洛中]<例会>12/14～15 納山祭(龍の小屋)9 人、22 終い山行(赤坂山)16 人<予定> 1/18 大文字山の自然学に学ぶ,もう一つの武奈ヶ岳,18～20 野沢温泉スキー
- ・[明峯]<例会>12/22 終い山行愛宕山 4 つのコースから集中登山 16 人<予定> 1/11 初春ぜんざい大文字<その他>つどい「生活に役立つロープワーク」
- ・[山城]<例会>12/21 春日山原始林忘年山行 7 人<予定> 1/12 新春愛宕山

連盟の取り組み、活動報告 (連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告)

- ・積雪期搬出訓練。1 月 2 6 日(日)イン谷正面谷周辺。1 月 19 日までに遭難対策部へ。
- ・第 60 期定期総会。3 月 2 日(日)教文センター 302 号室。Pm 1 時開場 1 時半開会。招集状と議案書は今月送付、資料集は 2 月下旬になる。各会からの活動報告を京都事務局まで送付願います。
- ・京都労山 60 周年実行委員会 2 回目を 12 月 17 日開催。議事録は京都労山 2 月号に掲載。次回 3 回目は 1 月下旬か 2 月上旬に開催予定。
- ・2025 カレンダー代は各会の分を纏めて 12 月 24 日全国へ支払いしました。

次回 2 月 4 日(火)の事務局長会議は、PM7:30 より WEB 専用会議とする。

2024 年 京都労山自然保護セミナー

連続テーマ「北陸新幹線延伸計画の環境問題を考える」

第 6 回 11 月 30 日（土）13:30～16:30 京都教育文化センター301



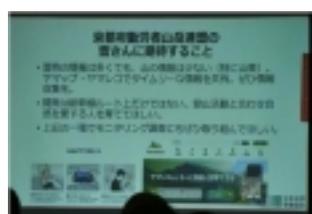
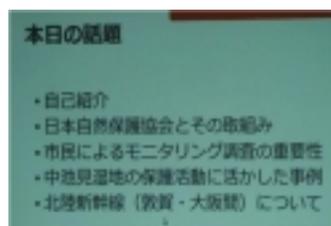
講 演

『中池見湿地の取り組みに学ぶ 市民によるモニタリング調査の重要性』

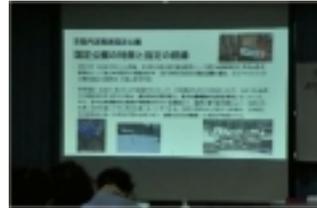
講師 福田真由子氏 (公財)日本自然保護協会 生物多様性保全部

福井県敦賀市の中池見湿地は、メダカやデンジソウなど絶滅危惧種 120 種を含む 3000 種以上の種が生育生息し、トンボは本州で見られる 6 割以上の 71 種が生息しています。2012 年ラムサール条約に登録され、国際的にも重要性が認められた湿地です。

北陸新幹線敦賀延伸の際、湿地の後谷を横断するルートは、地元の市民団体の保護活動と福田さんら日本自然保護協会の活動により変更できました。しかし新幹線のトンネル工事により、深山からの沢の水が枯れ、カワトンボ・ヘイケボタル・アカガエルの卵が激減との報告があり、機構に復元作業を求めた結果、2023 年には後谷の盛土を取り除き、湿地空間を広げる復元作業が始まりました。作業の決定は鉄道事業では前例がなく大きな前進でした。保護と開発にかかわる行政間のコミュニケーションや市民参加の視点が日本全国の自然保護にとっても重要なポイントだと講演を結ばれました。



報告 京都丹波高原国定公園について (左京労山 入江)



質疑応答

- <質問> 中池見湿地におけるアセスメント項目は、機構と自然保護協会との間で異なっているか？
- <答> 協会が、継続的にモニタリングしている調査項目とは必ずしも合致していない。例えば協会が2種類に区別しているカエルを機構は1種類として取り扱っていた。
- <質問> 後谷の水枯れ復元の取り組みは、どのような体制で行われているか？
(らくなん山の会 中塚)
- <答> 協会が計画を立案して作業に取り組んでいて、機構は財政支援している。後谷の水量を戻そうとする取り組みの実際の目標は低いレベルで、現実的には、元の状態に回復させるには難しいと思われる。
- <質問> 中池見湿地と京都延伸計画について教えてほしい。(奈良労山 由良)
- <答> ○平尾さんより問題点や延伸問題では、労山として機構だけでなく、国・府・市への署名提出や、パレードをしていることの説明をする。
○協会として、京都延伸計画では、2019年には配慮書時に意見を出した。準備書が出たら意見を出す。ルートが決まれば水環境などの判断材料を出すので、環境省は手を抜かず調べてほしい。
- <意見> 右京の会の代表をしてる。3ルート案は全て右京区を通る。深山トンネルの工事中に見学に行った。トンネルの真上に集落の田がある。水枯れして川が枯れた。ポンプで水を戻して田に水を入れた。ポンプアップもずっと続くものではない。土砂は表面を削るのではなく、山深くから取る。しばらく草木も生えない。自然破壊になる。
- <答> 米作りがあったから手当をしたが、何の補償もない。
- <意見> 深山トンネルの調査費は、福井の原発から出る。市民の税金が使われていないから、反対運動が起きない。小浜は、原発から費用が出るが京都は住民が出す。
(洛中労山 山本)
- <答> 後谷の水枯れのモニタリングを2年間して、どこまで回復するか？目標は、ラムサール条約に則ってしている。アカガエルは工事前と同じ基準に戻す。湿地の回復をめざすが沢は戻らない。10年はかかる。

〈感想〉 延伸工事費は、府民・市民・国の負担で全て税金。地域住民の足となるローカル線は切り捨てになる。JR、土建会社の利益になる。税金の使い道を考えないといけない。 (乙訓山の会 松方)

行動提起をして閉会しました。

〈参加者〉40名 (9会 34名、奈良労山・滋賀労山各1、一般2、京都新聞記者1、講師、内3名WEB)

〈参加者感想〉

- 中池見湿地の知見で、トンネルを掘ると水枯れをすることが明白です。京都を通るトンネルを造ることで、日本自然保護協会とどの様な場所、大事にすべき自然などはどこなのでしょう。登山をする者が山の情報の共有をとのことでした。どの様な視点でどの様に発信すれば良いのでしょうか。戻らない自然破壊を繰り返さない様に！
- 身近な自然里山を守ることは大切ですが、気候変動、温暖化などでも自然に環境は変わっていく。動植物はそれぞれ自分の環境にあったところで育っていくものだと思うしそんなに心配することはないのではと思います。それより北陸新幹線です。そもそも今、北陸新幹線を必要と思っている人、賛成の方は何%なのでしょう。住民の反対者は何%か。そのあたりのモニタリング調査が必要なのでは？水枯れ、大量の土砂環境破壊が進むことなど住民の意見を伝えて頂きたい。私は今の時代北陸新幹線は必要ないと思います。
- 新幹線延伸工事が中池見湿地に与える影響、工事反対理由が聞きたかったが具体的なことが話されなかったのが心残りであった。
- モニタリング調査の重要性を説明していただき、参考になった。データの共有も含め、力になるような取り組みを考えていければうれしい。
- 中池見湿地の保全、保護の流れがよくわかりました。やはりデータに基づく議論、論点整理の取り組みの必要性も認識できました。
- 中池見湿地と北陸新幹線工事に関わる自然、生活への影響と我々の取り組む運動方向について考える機会となりました。自然環境の変化、変様はリニア工事、他地域の地下道路工事の例を見ても明らかになっています。起こってからでは遅い。色々勉強になりました。
- ラムサール条約の威力もさることながら、それを実現させ、北陸新幹線ルートを変更させ、後谷の埋め立てを撤去させた市民活動の力がわかりました。このような取組が広がっていくことを望みます。もっと知らないといけない貴重な活動を聞くことができありがとうございました。

[行動提起の報告他]

●12月8日(日)北陸新幹線京都延伸ストップ市民デモ

15:00 京都市役所前集合 各団体からの交流の後、円山公園までアピールウォーク。小雨の中、労山は手作りプラカードを持って市民にアピール。河原町通りを南下、行きかう観光客はじめ通行人の注目を集めました。楽器に合わせ、「京都の宝地下水守ろう!」「自然を守ろう!」「京都の地下に巨大トンネル要らない!」と声を響かせアピールしました。全体で310名、京都労山関係8会24名の参加でした。



- 機構への労山の見直し要望署名は、2020年3月からはじめ、4年9ヶ月となります。1万筆目標で、2024年12月末までに9,991筆が集まり全て機構へ届けました。みなさん、署名のご協力ありがとうございます。
- 与党PTは、2024年末までに京都駅3ルート案を一つに絞ることを掲げていましたが、京都府知事や京都市長から「残土、地下水、交通渋滞、財政負担」等の懸念が強くだされて決定できず、2025年着工を断念しました。京都仏教会から「1,000年の愚行」とルート変更を求める申し入れも京都府・市へありました。
- 環境アセスの途中であり、署名はアセスの準備書ができるまで届けます。引き続き準備書が発表されるのに備え、意見表明などの取り組みを準備していきます。

2024 自然保護セミナー 報告《京都丹波高原国定公園を知る》

○指定時期と地域の特徴：2016年3月25日に国定公園に指定。原生的な自然を有する芦生の森を始めとして、広域が希少な動植物の生息地となっており、そこに茅葺き屋根の古民家が多数残されている集落など、自然と寄り添う暮らしがある。自然と文化が融合した風致が特筆され、由良川沿いの自然の中に伝統的な家屋集落などがある美山中・西部、原生的な自然が残り暖温帯林と冷温帯林の移行帯の中に多様な動植物が生息する美山芦生地域、山村花背と高層湿原八丁平がある左京区北部、伏状台杉群など特徴的な植生群落及び日吉ダムがある京北・甘若湖地域、頭巾山などの森林景観が特徴の綾部地域、長老ヶ岳の森林景観や大野ダムがある京丹波地域の6地域に分けられる。

○位置：京都府の中央部、綾部市・京丹波市・南丹市・京都市左京区・北区の一部。広さ69,158ha 丹波高原の東エリアに位置する。

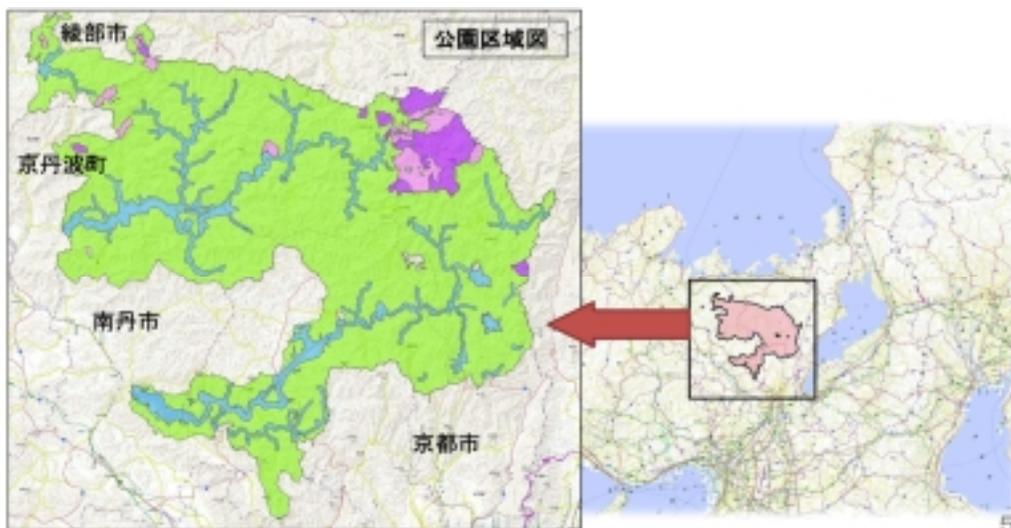
○●第1種特別地域（芦生の森・八丁平・頭巾山・長老ヶ岳の附近が環境省日本の重要湿地500など多くの指定） ●第2種（芦生の森・かやぶきの里・頭巾山・君尾山・古屋・洞谷・久多附近などが環境省特定植物群落などに指定） ●第3種（国定公園の中の広範囲の森林地帯。江和は生物多様性保全上重要な里地里山に指定） ●普通地域（由良川・桂川水系の中上流河川沿いの集落や農地）

○地形・地質・河川・気候：標高600～800mの高原域。日本海側と太平洋側の脊梁山脈特有の景観と植生。京北や南丹にマンガン廃鉱山多数。三国岳直下を源流とする由良川上流域は急峻な渓谷、中流域沿岸に農地や集落が多く、若狭湾に注ぐ。桂川は佐々里峠を源とし、亀岡盆地に抜ける。八丁平湿原は安曇川源流である。

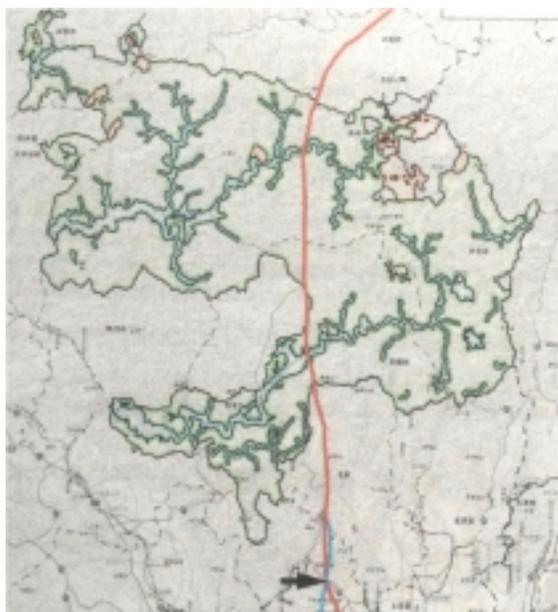
○特色ある動・植物相：アシウスギなど地域の名前を冠した学術上貴重な種があり、片波川原流域は台杉が巨木群を成している。西日本屈指の規模のブナ林など多種の植物群もあり、大悲山峰定寺の三本杉の東幹は樹高日本一である。国指定特別天然記念物のカモシカやオオサンショウウオ、天然記念物のイヌワシやヤマネを始めとして、絶滅危惧種を含めた希少な生物が数多く生息する、生物多様性豊かな地域である。

○文化・歴史的側面：豊かな自然の中での暮らしを背景に、北山杉、松上げ、栃の実の菓子、厄除ちまき、神楽・田楽等、地域の伝統的な生業や行事が受け継がれ現在も営まれている。美山北集落のかやぶきの里は重要伝統的建造物保存地区である。かつての都と日本海側との物流を支えた街道の名残も見られる。

このような特色を持つ京都丹波高原国定公園は、テーマに「森の京都 ～森・川・里の守り



つぐ自然と文化～」と掲げている。京都丹波高原国定公園の位置とエリア
 1973年の整備計画がそのまま半世紀後の今、強引に実施されようとしています。
 ルートの8割がトンネル。掘削土は2000 m³以上、その内30%がヒ素等を含む要対策土。
 地下水への影響は計り知れず、都市部は大深度地下利用法を適用して掘り進める。京都



—京都丹波高原国定公園の真ん中を貫く北陸新幹線延伸小浜・京都ルート(赤線)

赤線下部の「→」以南がシールドトンネル工法。以北は山岳工法トンネルなので大量の地下水がトンネル内に漏れると考えられる。(計画ルート上の交野市長は防水型工法にできないなら市有地でのアクセスは拒否を表明している)

の費用負担は5兆円以上の莫大です。安定的な財源見通し、収支採算性や投資効果など基本5条件が満たされるとは到底思えません。完成は2050年代以降。環境を著しく破壊し、莫大な費用負担を強いるこの計画に、6割以上の京都市民が反対しています

———未来の京都が待ち望む計画でしょうか?———

京都労山 積雪期 搬出 訓練 の案内

実施日：2025年1月26日（日）

対象者：雪山ハイキングや雪山縦走に参加されている方、参加しようと思っ
ている方

受付：イン谷口トイレ前広場 9時00分 開始；9時30分 解散：15時00分
場所：正面谷周辺

内容：ビーコン、ブローブ 訓練、負傷者の梱包、堂満第1ルンゼからの搬送
持ち物：積雪期の日帰り個人装備 ビーコン、シャベル、ブローブ、ヘルメット、
ハーネス等必要な登攀用具（原則、アイゼンは使いません）
ビーコンやブローブ、シャベル、ハーネス、登攀装備を持っていなく
ても参加可能です。（ビーコン、ブローブ訓練の時は見学だけでも勉
強になります）他、

締め切り：2025年1月19日（月）

各会にて参加者の集約をし、申込書を1月19日までに、遭難対
策部****までメールにて送付下さい(****@*****)

その他：当日の参加者の緊急連絡先（留守宅）は各会で把握して下さい。

近畿ブロック搬出講習会の予定

1. 日程：2025年4月5日（土）・・・ハイキング/コンパニオンレスキュー
ー

6日（日）・・・岩/尾根

2. 場所：岩・尾根班・・・兵庫県の百丈岩周辺

ハイキング班・・・未定

初級コンパニオンレスキュー班・・・大文字山安祥寺林道入り口付近

クライミング委員会山行 報告

クライミング 《白嵩》

日：12月15(日) 晴れ

メンバー：河合(やましな)、小泉(田辺)、青山大(やましな)

山科集合で白嵩へ。いつも京都東から高速に乗る時、何となく京都からは南方向に向かう感覚があり大阪方面に行きそうになる。これまでは、「違うわ」とゲートを過ぎてから気がつき、ハンドルを左に切り事なきを得るが、今回はそのまま右車線を直進、「え?!」、「あ!!…すみません……」のやり取りの後、本線と合流し京都南でU。ロスした時間は右足の加減で調整。

高速を降り道の駅でトイレ休憩、前後に2台ほどそれぼっい車両と人の姿が、嫌な予感。9時過ぎに駐車場所着、案の定車がいっぱい、何とか端に駐車。岩場は荷物の置き場もないほどの人人人、落ち着かない場所に追いやられる。

朝イチは易しめルートが人気なので、荷物を置いた目の前の“みじかしい”ルートから。その後は順番待ちで登ったり、空いているルートを狙ったり、岩場をあっちに行ったりこっちに行ったり。

登り疲れ 2 割、人混み疲れ 8 割で、シーズン初の白嵩行を終えた。



.....

【クライミング委員募集のお知らせ】

※クライミング委員会では、委員志望者を随時受け付けています。

希望される方は、各山岳会を通じてクライミング委員会までご連絡ください。

連絡先：kr_climb@yahoo.co.jp

※委員について

- ・登攀要素を含む山行(クライミング・沢登り・雪山など)を目指している方
- ・労山基金 5 口以上、またはそれらに準ずる山岳保険に加入している方

京都府連盟登山道倒木整備 一大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

昨年で安祥寺上寺跡左俣登山道の整備が完了したので今年は D 尾根と安祥寺上寺跡右俣登山道周辺を整備します。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は毎回、京都大阪森林管理事務所の承認を得て実施しています。みんなで頑張ってお楽しみ安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

★実施日：2月8日（土曜日）

雨天、降雪予想の場合は前日の19時までに判断して中止のみ連絡します。

★申し込み締め切り：実施日前の月曜日

★集合場所：JR山科駅改札口付近 9時00分（9時には出発します）

★参加申込先：連盟登山道整備担当 青山郁夫

080-3797-4392 携帯メール 2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp

留守宅（緊急連絡先）も教えて下さい。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カップ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）、テルモス、お弁当、救急薬品 ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ、笑顔等

★共同装備：ロープ、ビニール紐、カラビナ、サムスプリント

★その他

- ・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
- ・木が1/3切れたら声を掛けること。1/3でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
- ・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。
- ・切った木を運ぶ時も木がどう動くか予測しておく。
- ・コロナがまた流行しています。本人や同居家族で微熱や、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに外来に行ってください。



今年からいよいよ安祥寺上寺跡右俣に取り掛かります。

第 24 回, 25 回 能登半島地震復興支援ボランティア報告

連盟ボランティア担当 青山郁夫

第 24 回 活動日：2024 年 12 月 8 日、9 日 やましな：青山郁夫 久子

12/7 京都-金沢駅西口の駐車場で車中泊

12/8 金沢駅西口-ボラバスで町野 NPO ボラセンへ-現地で活動-ボラバスで金沢駅西口へ-金沢駅西口の駐車場で車中泊

参加者：全体で 31 名 私たちの班は 11 名

活動内容：ボラセン近くの（歩いて 5 分）川の近くのおうちの畑と家の前の泥を掻き出して土嚢袋に入れ道路脇に置いた。

12/9 金沢駅西口-ボラバスで門前ボラセンへ-峠を越えて山向こうの現地で活動-ボラバスで金沢駅西口へ-京都

参加者：全体で 26 名 私たちの班は 11 名 軽トラ 2 台 ワゴン 1 台

活動内容：家の横の排水溝と家の裏の崖下の排水溝の泥出し運搬 昼から他班と合同でお寺の周囲の泥出しと運搬

青山郁夫 町野は 3 回目であるが NPO 取組み活動は初めてだった。写メ中央のおうちにはおばあちゃんが住んでおられたが今は仮設住宅暮らし。家に帰って畑をしたいと言って見えるそう。いつになったらおうちに帰れるのだろう。

門前の七福に行ったが家の前の川べりの畑は泥に覆われていた。何度も土嚢袋を仮置き場に運んで降ろした。土嚢袋の重さに被災者の生活苦が感じられた。

青山久子

町野では、前回伺った時よりも公費解体され更地になっている所が目立ったのと、町の中心にある『もとやスーパー』が元気に営業再開されていて町野から少し元気をいただいたように思う。

町野 NPO は地元住民が運営しておられるので、今月末で閉められると伺った。日々の生活や仕事に加えての運営に頭が下がる思いである。

門前も今月末でボラセンは閉められるとのこと。依頼もご自宅内から周辺の側溝に広がっていた。皆さんに暖かい日々の生活が戻りますように。



町野中心街 流木が山積み



町野 畑と家の前の泥を掻き出し



門前 仮置き場で土嚢袋を降ろす

第 25 回 活動日：2024 年 12 月 21 日、22 日

西山 HC:中村好夫 やましな：青山郁夫 久子

12/20 山科駅集合—金沢駅の北の方の倶利伽羅塾で宿泊

12/21 金沢駅西口—ボラバス—輪島市で活動—ボラバス—西口—倶利伽羅塾宿泊

参加者：全体で 53 名 私たちの班は 10 名 軽トラ 2 台 ワゴン 1 台

活動内容：輪島市の山間部のおうち。雨の中、林道から流れ出る水が家の裏に流れ込まないように排水路を作った。家の横に土嚢を積んだ。

12/22 金沢駅西口—ボラバス—輪島市で活動—ボラバス—金沢駅西口—山科駅解散

参加者：全体で約 50 名 私たちの班は 11 名 軽トラ 2 台 ワゴン 1 台

活動内容：1 m 近く床上浸水した輪島市郊外の漆器工房。廊下、戸板、壁などを高圧洗浄機で泥落とし、戸板洗い、工房の床の清掃を実施。

青山郁夫

中村さんとご一緒して阪神淡路や東日本震災の話などを聞いてとても良かった。

1 日目のおうちはおばあさんと 101 歳のおばあちゃんが住んで見えた家。お 2 人とも今は避難所生活。ここの集落の人はみんな家の建て替えは諦めて引っ越すとのこと。おばあちゃんはたまに家に帰って来るととても嬉しそうな顔をしてずっとここに住みたいと言ってみるとのこと。私も住みたいが今度、地震や豪雨があったらもうこの家は無事で済まないと思う、これからどう生活しようかと悩んでおられた。

2 日目は私たちと商工会の人たちと合同で作業。1 m 近く床上浸水とは驚いた。工房の中は泥まみれだった。まだまだ工房の再開には何回もの清掃が必要である。

青山久子

今回は金沢駅から輪島ポートパーク VC へ。輪島の被害の象徴であった五嶋屋のビルはほとんど解体され基礎部分が残るのみとなっていた。

1 日目の活動中に被災された時の状況を伺うことができ、自宅から土砂災害で避難所に向かうまで車で 15 分の道のりに 4 時間もかかったとのこと。高齢のお二人はどんなに心細かったことだろう。2 日目は工房内の清掃だった。漆の床や柱は土砂にも負けず、泥を落とすとまたその光沢と色が甦ってくる。何回も清掃は繰り返されることになるが、そこに伝統の持つ底力を感じた。

中村さんから過去の震災ボランティア経験をいろいろと伺うことができ、とても有意義だった。



家の裏の林道に排水路を作る



漆器工房清掃メンバー

能登半島地震災害復興支援ボランティアに参加して

西山ハイキングクラブ 中村 好夫

大震災から一年が経過しようとしていた昨年12月20日（金）～22日（日）に京都府連盟の「能登半島地震災害復興支援ボランティア」に参加しました。

過去には、阪神淡路大震災時には毎週金曜日の夜から日曜日にかけて、阪急が西宮北口までしか動いてない時に、現地で自治体労働者のボランティアの受け入れをしていました。また、東日本大震災では、石巻労山と連帯して京都府連盟として現地に10数回支援活動にも行っており、今回も何とか都合をつけて参加したいとの願いが、実現することができました。

参加するに当たっての一番の不安は、天候でした。土・日冬型の気圧配置で、雪が降るとの予想で作業できるのか心配でした。しかし、なんとか寒さにも耐え無事に作業することができ、22日の夜中に帰京しました。

20日、山科駅集合で京都を出発し、宿泊先の「俱利迦羅塾」へ。俱利迦羅峠は火牛の計で知られる木曾義仲と平維盛が戦った古戦場です。道の駅には、その解説板などがありました。また、冬至の時期で柚風呂を楽しむことができました。

21日朝6時50分、金沢駅前をボランティアバスで出発し、輪島へ向かいました。この日の作業は、山間の家で「裏山からの出水が家に流れ込むのを防いでほしい」という要望でした。この作業は、山道の整備作業が役立ちました。水路を確保し、水が家に流れ込まないように土嚢を積んで水を遮断する。周囲から水路に土砂が入り込まないように土嚢で補強する作業をしました。作業をしていると、石巻での作業を思い出し、なんとかみなさんの足手まといにならずに済んだかと思います。兵庫から高校生の親子の参加もあり、作業は小雨の中での約3時間余りでした。

22日、昨日と同じく輪島へ。この日の作業は、9月の豪雨により1m近く床上浸水した家の床上の泥出しと洗浄でした。家の周辺や床下の泥の撤去は完了していましたが、家の中は当時のままでした。漆塗りのお仕事をされていたのですが、立派な工房は地震と水害でひどい状況でした。畳や家具は運び出されていましたが、システムキッチンや出入り口の戸は泥だらけでした。高圧洗浄機で泥をかき出し、その後、ぞうきんでこびりついた泥をふき取るのですが、根気のいる作業でした。作業には、私たちのボランティアとともに地元のロータリークラブのみなさんも作業されていました。ボランティアには、若者も多く心強く感じました。時折雪が舞う天気で、突風も吹くなどありましたが、無事作業を終了後、依頼主の方を囲み、みんなで記念写真を撮りました。

今回も山歩きの経験のノウハウが、復興に役立ちました。寝袋、テント、ロープ、コンロ、登山靴などを活用することで、登山者は災害に強いと再確認しました。

活動にあたり、支援先や宿泊先、車の提供をすべて青山さんにお世話になり、感謝です。

第2回実行委員会（京都労山60周年記念事業）

記録 平尾

2024.12.17 PM7時30分～8時30分

＜参加者＞13名（事務所6名、リモート7名）：実行委員7名、代理3名、連盟3名
事：岩井（伏見）、宮内（田辺）、山本（洛中）、坪山、西村、平尾（連盟）
り：沖（山城）、近藤（乙訓）、高木（右京）、鹿島（西山）、金山誠（福知山：代）、岩根（左京：代）、吉野（やましな：代）
実行委員は、11会で決まる 他に、西山（永田）、WAO（野原）、田辺（小泉）、明峯（花折）、らくなん（安田）

＜本日の内容＞

実行委員で決めていき、常任理事会はサポートする立場であることを再確認

- ・前回の議論をふまえて、記念事業の中身を検討する
- ・前回以降、各会で検討してもらった記念事業への要望を発表してもらう
- ・この事業を通じて世代交代を図り京都労山が存続できる道を探る

＜西村常任理事からの提案＞

- 1 事業は、今後の京都労山のあり方の検討、どう次世代に引き継ぐかを繋ぐ中身にしたい。
プランとして、毎年11月に実施している交流会を、2025年をブレ、2026年を本番として、担当の会に実行委員が加わり共に企画立案し実行する。今までより規模を大きく、交流できる機会を増やし次世代に引き継ぐことを主眼とする交流会とする。
- 2 労山の組織の現状は、会の数は減ったが、会員数は昨年に続き微増。60周年で再び1,000名を目指すことも、今後の京都労山の活動に繋がる
- 3 記念事業を企画実行する中で、世代と経験の違う委員間で議論することや、委員が他の会でのやり方を学ぶ機会にすることが京都労山の未来を拓く

＜各会からの要望等の発表＞

- ・右京：各会が交流できる年に、会の山行に他会からも参加できる例会を月1回ぐらいつくり交流する。アルプス等で同日に集中登山。記念誌、講演会。近場での集中登山で集まる。50周年と違うこともやればよい。
- ・洛中：連盟で「安全登山に対する統一のマニュアル」を整備する。
- ・福知山：魅力ある講演会（WEB併用）のみでいいのではないかと。50周年から10年なので、大したことは必要なのか？前回、蓬莱山は長く待たされて大変だった。
- ・山城：年齢が高く参加しづらい。前回京都の山100をしたが花好きの人が多いため「京都の花の山」マップをつくりで紹介してはどうか。高齢者も参加しやすい「京都一周トレイル」をクリーンハイイク？最後大文字に集まって交流・

やましな：講演会やったらいい

- ・左京：冊子はしんどいかなの声、全体が集まるのは一定の広さの所が必要（他登山者に配慮）

＜意見等＞

- ・北部と南部で温度差、北部交流ハイキングへの南部の申込は2名のみ
北部の会は141名で15%を占めている。参加しやすい形を全体で考えてほしい。少人数の会にも実行委員会に参加してもらい全体を盛り上げるよう働きかけてほしい。
- ・簡単にみんなが参加できる心に残る行事をしよう
- ・連盟のとりにくみが各会の負担にならないよう、パート毎ですすめるなど、機動的に動ける年代ではないので考えてほしい
- ・コンパクトな形で出来る範囲で行う、時間を拘束されない形で形あるものをする
- ・経験者が辞めていく時代なので、世代継承に危機意識を持ち全力で取り組むことが必要
- ・記念山行は、高い山がしんどくなっている会員も多いので、低山を安全に歩くのを一つの柱としつつ、50・60代で山を始めた人も入会しておりアルプスに挑戦したいが会の先輩が年齢的にしんどくなって実施できないなか、2年後をめざして目標の山に登ることも必要。（日を決めて集中登山）技術の継承にもなる。
- ・各会から山行や1年の活動の動画をだしてもらい、労山のユーチューブを作成してはどうか、会員獲得に利用できる。

＜今後＞

- ・今回議論が間に合わなかったり、意見・要望の出なかった会は再度持ち帰り意見・要望を聞き、次回報告してもらう
- ・3月総会に提案し、3月中旬に？実行委員長を決めてすすめたい
- ・記念誌、記念山行、講演、レセプションなど各パートで、各論を具体化していく

次回、1月末か2月初旬（予定）

登頂順二百名山登頂記録④
No.112 姫神山 1235m

乙訓山の会 小川 繁
2009.8.13(木)

8.8(土)～15(土) 東北地方家族旅行中単独山行

- 8(土)09:48 自宅発～敦賀港＝フェリー＝
9(日)05:50 秋田港～平泉～焼石岳～平泉・志羅山旅館泊
10(月)03:58 志羅山旅館～栗駒山へ向かうが全面通行止めで登れず、志羅山旅館
に戻り家族と一緒に花巻観光～遠野 YH 泊
11(火)04:00 遠野 YH～早池峰山登頂～宮古観光～宮古・YH 末広旅館泊
12(水)07:30 YH 末広旅館～岩手山登頂～雫石 YH 泊
13(木) 姫神山登頂 登り 1h43/下り 51/計 2h03

07:30 雫石 YH 発～田沢湖畔で道を間違え 30 分程ロス。

08:50 田沢湖畔民宿「ビーチハウス」着。家族を残して姫神山へ向かう。

10:43 一本杉登山口 P 着。この雨では誰もいないだろ
うと思ったら先着車 1 台。登山ノートによると
10:30 頃登り始めた様だ。

10:56 急に小雨になり晴れ間も覗く。先程迄の土砂降
りなら諦める所だが、これは登るしかない。

11:02～小雨の中合羽を着て山行開始。登山口手前は
キャンプ場の芝生広場でベンチも置かれて良
い感じ。一本杉は大木だが周りにも沢山杉が生
えていてあまり目立たない。

11:21 早くも五合目。穏やかな道もここ迄で、ここか
らは滑る土・木の根・石の道を気を付け乍ら登
る。途中で先登の親子 2 人連れに追い付く。コ
ンビニのビニール合羽を着た小 5 位の男の子と父親。

11:39 八合目。あと少し。しかしここからは大岩を縫い乗り越
える本格的な登山道。山頂直下に土場・岩場コース分岐
があり土場コースを行く。

12:05 姫神山山頂。山頂標・祠がある。少し下にこわ坂・田代
コースの標識があり、山頂表示が違う方向を向いている。
地図で確かめ一等三角点を確認。何しろガスで見通しが
利かないので分かり辛い。軽食を摂る。

12:14～強風と小雨の中急ぎ下山。途中で親子連れに
会う。あと少しだ、頑張れ！

12:38 雨に濡れた岩場に差し掛かる。慎重に下る。

12:48 五合目。あと少し。

13:05 一本杉登山口着。小雨は降り続く。急いでシ
ャツだけ着替え登山靴のまま 13:16～八幡
平に向かう。

この後八幡平に登り、4
時半頃田沢湖畔の宿で家族
と合流し田沢湖を 1 周。夕
ツ子姫像等観光。



2月号案内

表紙の絵

長谷川ひろ子さん（やましな山の会）

山科川の桜並木

山科川の桜見ごろは例年3月下旬頃から4月上旬頃です。

南側の六地藏駅付近から北部の東部クリーンセンター付近にソメイヨシノなどの木が植えられた桜並木が続き、桜と山科川などの光景が美しいと言われています。（京都トラベル・から）



*昨年、日本被団協がノーベル平和賞を受賞しました。

被爆者は筆舌に尽くしがたい体験から、人類と核兵器は共存しない、と核兵器廃絶の運動を続けてきました。

ノーベル平和賞選考委員会は「被爆者たちは個人の体験を語り、キャンペーンを作りだし、核兵器の拡散と使用に関して緊急の警告を発することで、世界中で反対する声を広めそれを強化するのに貢献してきた。」

と受賞理由を述べています。

毎年私達も労山旗を掲げて襷をつなぎ、平和行進を続けています。

「人類は一步踏みとどまった」としたいものです。



<お知らせ>

「提案 情報 投稿」原稿を募集しています。連載企画の内容でもOKです。労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。

【投稿先】 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス hirossan-1954@nifty.com

*原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

*字体 MS明朝体 11P 余白上、左、右各20mm 下23mm

2025年 京都府連盟 月間予定表

| 2月 (如月・FEB) | | |
|-------------|---|----------------------------|
| 1 | 土 | |
| 2 | 日 | |
| 3 | 月 | 自然保護委員会 |
| 4 | 火 | 事務局長会議 |
| 5 | 水 | |
| 6 | 木 | |
| 7 | 金 | |
| 8 | 土 | 大文字山登山道整備 |
| 9 | 日 | |
| 10 | 月 | 常任理事会 |
| 11 | 火 | 建国記念の日 |
| 12 | 水 | |
| 13 | 木 | |
| 14 | 金 | |
| 15 | 土 | |
| 16 | 日 | 初級机上4 天気図 |
| 17 | 月 | 京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会 |
| 18 | 火 | |
| 19 | 水 | |
| 20 | 木 | |
| 21 | 金 | やまびこ利用日 |
| 22 | 土 | |
| 23 | 日 | 天皇誕生日 |
| 24 | 月 | 振替休日 |
| 25 | 火 | 常任理事会 気象勉強会 |
| 26 | 水 | 女性委員会 |
| 27 | 木 | |
| 28 | 金 | |
| | | |
| | | |
| | | |

| 3月 (弥生 MAR) | | |
|-------------|---|----------------------------|
| 1 | 土 | |
| 2 | 日 | 京都勤労者山岳会 定期総会 |
| 3 | 月 | 自然保護委員会 |
| 4 | 火 | 事務局長会議 |
| 5 | 水 | |
| 6 | 木 | |
| 7 | 金 | |
| 8 | 土 | 初級実技8 雪山テント泊 |
| 9 | 日 | 初級実技8 雪山テント泊 |
| 10 | 月 | 常任理事会 |
| 11 | 火 | |
| 12 | 水 | |
| 13 | 木 | |
| 14 | 金 | |
| 15 | 土 | |
| 16 | 日 | |
| 17 | 月 | 京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会 |
| 18 | 火 | |
| 19 | 水 | |
| 20 | 木 | 春分の日 |
| 21 | 金 | やまびこ利用日 |
| 22 | 土 | |
| 23 | 日 | 初級机上5 救急法 |
| 24 | 月 | 常任理事会 |
| 25 | 火 | 気象勉強会 |
| 27 | 水 | 女性委員会 |
| 27 | 木 | |
| 28 | 金 | |
| 29 | 土 | |
| 30 | 日 | |
| 31 | 月 | |